

2019年度 行事部主催 施設見学研修会 報告

—宮川医療少年院—

2019.8.2(金) 13:30～15:30

1. はじめに

今年度の行事部施設見学研修会では、三重県伊勢市にある「宮川医療少年院」を訪れました。以前の見学で希望が叶わなかった先生方や、研修等で医療少年院の取り組みに興味を持っておられる先生方などから、募集人数を上回る申し込みがありました。普段、なかなか見学する機会のない少年院で、施設の方から貴重な話を聞かせていただいたり、施設を見学させていただいたりしました。プライバシー等の制約があるため、写真を掲載することはできませんが、研修会で学んだことを報告します。

2. 時程

2019年8月2日(金) 13:30～15:30

9:00	参加者集合、受付
9:15	出発
13:30～15:30	現地到着、見学 1) 概要説明 2) 施設見学 3) 質疑応答
15:40	現地出発

3. 宮川医療少年院について

(1) 施設のあらまし

宮川医療少年院は、主に東海・北陸・近畿の各家庭裁判所において少年院送致決定を受けた入院時におおむね12歳以上20歳未満の男子少年のうち、

- ① 知的障害又はその疑いのある者及びこれに準じた者で処遇上の配慮を要するもの、
- ② 情緒障害若しくは発達障害又はそれらの疑いのある者及びこれに準じた者で処遇上の配慮を要するもの

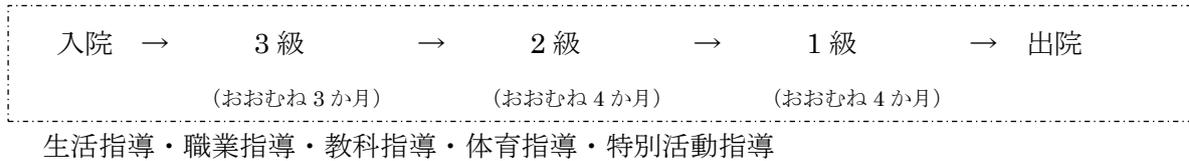
を収容し、特性に応じた治療的教育を行う

(2) 教育の特色

- ① 基本的な生活習慣を体得し、円滑な社会復帰に向けての生活意欲を高め、社会に適応する力を向上させるための教育
- ② 受容的な雰囲気の中で、認知機能の向上を図り、自己理解を深め長所を伸長するための治療的教育
- ③ 再犯・再非行を防止し、健全な生活を送る習慣を身に付けるための指導

(3) 教育の内容

在院者は、次のような教育活動を経て出院していきます。



(4) 一日の生活

6:50	起床・洗面・清掃
7:20	朝食
9:00	朝礼
9:15	教育活動
12:00	昼食
13:00	運動・教育活動
15:30	面接・読書・学習
16:30	夕食
18:00	日記・課題学習
19:30	余暇時間（テレビ視聴等）
21:00	就寝

職業指導・・・在院者の多くは転職をくり返しており、基本的な勤労習慣が身につけていないため、一つの仕事に集中できるよう、根気・忍耐力を育てている。また、こうした実習を通して、心身の機能の向上と協調性も育てている。

教科指導・・・義務教育や高等学校への進学を希望する者に対する指導を実施している。

治療的指導・・・認知機能強化トレーニング（Cognitive-Enhancement-Training）
認知作業トレーニング（Cognitive-Occupational-Training）
認知理論に基づいた治療的教育プログラムを実施している。

社会復帰支援・・・出院後を見据えて、住居、就業先その他の生活環境の調整を行い、在院者が円滑に社会復帰できるよう必要な支援を行っている。

- ① 帰宅調整 ② 医療・療養に係る支援 ③ 修学に係る支援 ④ 就業に係る支援

(5) 年間行事

1月	成人式	3月	卒業式	4月	観桜会
6月	開院記念行事	10月	運動会	11月	収穫祭
12月	クリスマス会	※その他、各種スポーツ大会、保護者会等を開催			

4. 感想

- ・わかりやすい説明でよかったです。特に“本人が困っている”のか“周りが困っている”のか“先生が困っている”のかを見極めることは大切だなと思いました。2学期から子どもの行動を見立てるチェック項目に合わせて子どもを見ていくことも取り入れようと思いました。ちょうど宮口幸治先生の“ケーキの切れない非行少年たち”を読んだ後だったので、その話とも重なり、コグトレももっと進めたいと思いました。
- ・施設の見学や内容を知ることができ勉強になりました。子ども一人ひとりを大切に教育しているのは、私たちが医療少年院も一緒だなと思うこともできました。今後の私たちのあり方も環境とし、大事に思っています。もっともっと勉強しないといけないと思えました。ありがとうございます。
- ・行動（本人）と家庭の問題の理解ができないことでの二次、三次障がいの発生状況が理解でき、支援教育の充実・社会の正しい理解の必要性を改めて確認できました。
- ・子どもたちの本質を見る視点や環境を整えることの大切さがわかりました。
- ・普段見ること、聞くことができない内容なのでとても興味深かったです。いつも関わっている子どもたちのことをイメージしながら話を聞かせてもらいました。
- ・少年院（医療少年院）の見学を通して、子どもの困り感の見極め（見立て）をしっかりとすること、その子どもの生活背景も含めてしっかり考えていくことの大切さを学べる良い機会でした。
- ・問題行動のある子どもに対する理解が深まりました。また、問題行動のメカニズムと見立てについては、知見が広がりよかったです。
- ・支援教育でできることと他分野（医療、福祉、行政）との連携の大切さが実感できました。
- ・具体的で大変わかりやすいお話をおうかがいでき、また、施設の見学もでき、大きな学びとなりました。教育にたずさわる者としての心構えから見つめなおす機会にもなりました。

5. おわりに

施設見学では、日頃少年たちが生活している教室や建物の廊下に飾られた作品などを見ることができました。認知行動療法など、理論に基づいた指導・支援の方法で、少年たちが社会に出られるようになるまでしっかりとした教育が行われていることを知ることができました。「教育・医療・福祉の密接な連携が子どもたちの明るい未来をつくっていく」という施設の方の言葉がとても印象的でした。子どもの行動の背景を丁寧にアセスメントする重要性を改めて感じました。今後の教育実践をより豊かにしていこうと強く感じた研修会となりました。

以上、今年度の行事部主催の施設見学研修の報告とさせていただきます。宮川医療少年院の方々、当日はお忙しい中、大阪府支援教育研究会施設見学研修会のためにお時間を割いていただき、ありがとうございました。末尾ながらお礼申し上げます。